

気候情報

2008年4月の日本の天候

- 北日本で顕著な高温・少雨
- 東日本太平洋側で顕著な多雨

4月の天気概況

北日本は、日本海側を中心に高気圧におおわれ晴れの日が多く、寒気の南下もほとんどなかったため、顕著な高温・少雨となった。北日本日本海側の月降水量は4月としては1946年以降最も少なかった。東・西日本では、月半ばを中心に本州の南岸沿いを低気圧が頻繁に通過したため曇りや雨の日が多かった。その後は高気圧におおわれて晴れる日が多かった。東日本太平洋側では、関東付近で発達した低気圧や動きの遅い低気圧の影響により顕著な多雨となり、月降水量が4月としては1946年以降第2位の多い記録となった。沖縄・奄美は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

上旬：前半は、北日本を気圧の谷が通過することが多く、北日本では曇りや雨または雪の日が多かったが、東・西日本では晴れの日が多かった。後半は、北日本は高気圧におおわれ晴れる日が多かったが、東・西日本では低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、8日は関東付近で低気圧が発達したため東日本太平洋側では大雨となった。沖縄・奄美は期間を通して、低気圧や前線の影響を受け、曇りや雨の日が多かった。なお、1日は北海道の東で低気圧が猛烈に発達したため、北・東日本では大荒れの天気となった。

中旬：低気圧が本州の南岸沿いを通過することが多く、北日本を除き曇りや雨の日が多かった。18～19日は動きの遅い低気圧の影響で、北・東日本太平洋側では大雨となった。北日本日本海側では低気圧の影響をほとんど受けず、降水量はかなり少なかった。

下旬：東・西日本は高気圧におおわれ晴れる日が多かった。北日本と沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変化した。北・東日本は中旬に引き続き高温となったが、沖縄・奄美では寒気が入ったため低温となった。

4月の気候統計

月平均気温：北日本でかなり高く、東日本と西日本

で高かった。北日本の一部では平年を2℃以上上回った。沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：東日本太平洋側でかなり多かった。関東甲信地方では平年の170%以上となったところがあった。一方、北日本日本海側ではかなり少なく、北日本太平洋側、東日本日本海側、沖縄・奄美では少なかった。北海道の一部では平年の10%未満となったところがあった。西日本では平年並だった。

月間日照時間：北日本太平洋側と沖縄・奄美で少なかった。一方、西日本太平洋側では多く、北日本日本海側、東日本、西日本日本海側では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

4月の記録（1位更新のみ）

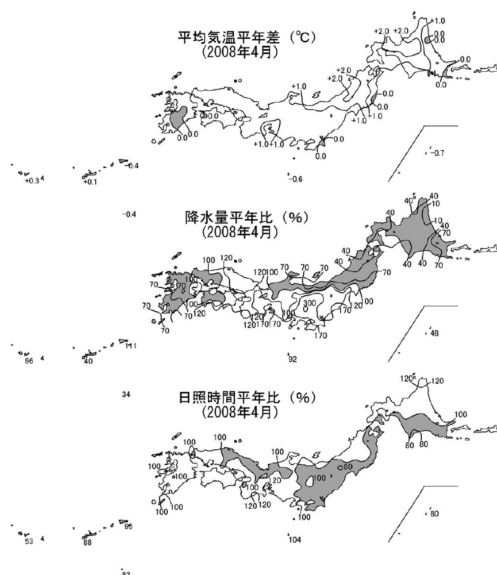
・月降水量多い方から（mm）

軽井沢 185.5 秩父 313.0 東京 240.0
館山 245.5

・月降水量少ない方から（mm）

北見枝幸 1.5 雄武 4.0 小樽 14.5
札幌 6.0 岩見沢 12.0 紋別 6.0

2008年4月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。